Subaru
昴 男声合唱団　ニュース№３８６　'12．11．05

11月4日

日本のうたごえ祭典・おおさかまであと1年！
人間らしく生きる未来へ希望の歌を！

がんばろ祭典フェスタ　大成功

大阪のうたごえ協議会　立川孝信

１１月４日大阪市の阿倍野区民ホールで６５周年記念日本のうたごえ祭典・おおさかの１年前プレ企画として「がんばろ祭典フェスタ」を取り組みました。

大阪はもちろんの事、関西から約５００人（約５０サークル）が集いました。企画内容は大阪の各地域合同や女性、男性、保育、教育、職場、シルバー、親子の分野の合同、そして日うた祭典のイメージＤＶＤの上映、ゲストには作曲家の武義和さんのお話と合唱指揮がありました。

開会の挨拶は祭典組織委員長の高砂さんより１１月２日に大阪城ホールの手続きを終えて、いよいよ１年後に大阪城ホールの祭典が決定したこと、その制作協力金が１０月末６００万円目標のところ８００万円を突破したこと、さらに年内１０００万円を目途に頑張ろうと呼びかけられました。

続いて、祭典実行委員長の元大阪城天守閣館長の渡辺武さんから今、大阪の文化をことごとく壊す恐怖政治が広がる中で、大阪でのうたごえ祭典を成功させる意義はとても大きいと日下部吉彦さんのメッセージを紹介しながら、デッカイ祭典を皆で創ろう。そして協力金もしっかり集めます。と力強く挨拶していただきました。

南部合同のステージ

参加者の声としては「感動的なフェスタで多彩な分野のうたごえに運動の広がりを感じ、うたごえは平和の力、生きる力、闘いと共にのスローガンを実感することが出来ました。

男声の「地底のうた」は人の心を打つ生命力に溢れ、涙しました。親子の「ぞうれっしゃよ走れ」にも元気と勇気と力をもらいました。祭典イメージＤＶＤも祭典の特徴がよくわかり良かった。全体を通してみんなの力を合わせて前進しようとする思いが広がるフェスタになって良かった。」というたくさんの感想が寄せられました。

実行委員長の渡辺さんも最後まで聴かれて「地底のうた」が心に迫り、「ぞう」の子どもの明るさに元気をもらい、保育の女性のダンスが爽やかで武義和さん指揮の「生きる」は素晴らしかった。大阪の合唱のレベルの高さに驚いた。と実行委員長として頑張らねばとの思いを強くしたフェスタであったと力強い感想もいただきました。

最後に祭典運営委員長の山本恵造さんから早急に企画を決定し、制作協力金も１２００万円早期達成に向けて、頑張ろうと力強い訴えがあり「旅のはじまり」「心つなごう」を全員合唱してお開きとなり、正に祭典１年前プレ企画として、「がんばろう」の思いに溢れたフェスタになりました。

□昴は「南部合同」として「こころつなごう」に、「男声合同」として「地底のうた」に出演しました。昴の参加者は１８名でした。

□奥村克己さんは上記出演のほかに「シルバー合同」の「かけがえのない人生を」を指揮、立川孝信さんは、「祭典普及応募作品」として作詞（早見公夫作曲）した「うたごえよ燃えろ」を奥村克己さんと伊藤知さんとの３人で歌って披露（写真）、西島国介さんは「祭典イメージＤＶＤ」上映を担当、森二三さんは６団体ものピアノをされるなど皆さん大活躍でした。

渡辺武実行委員長の挨拶

□男声合同の**「地底のうた」**は昴が覚えている音とは違う箇所が多くあります（特に低音部）。広島での何百人のステージは皆、**原譜で歌います**ので、覚えなおす必要があります。楽譜を配りますが１０日（土）の合同練習に参加して確かめて下さい。

男声合同「地底のうた」

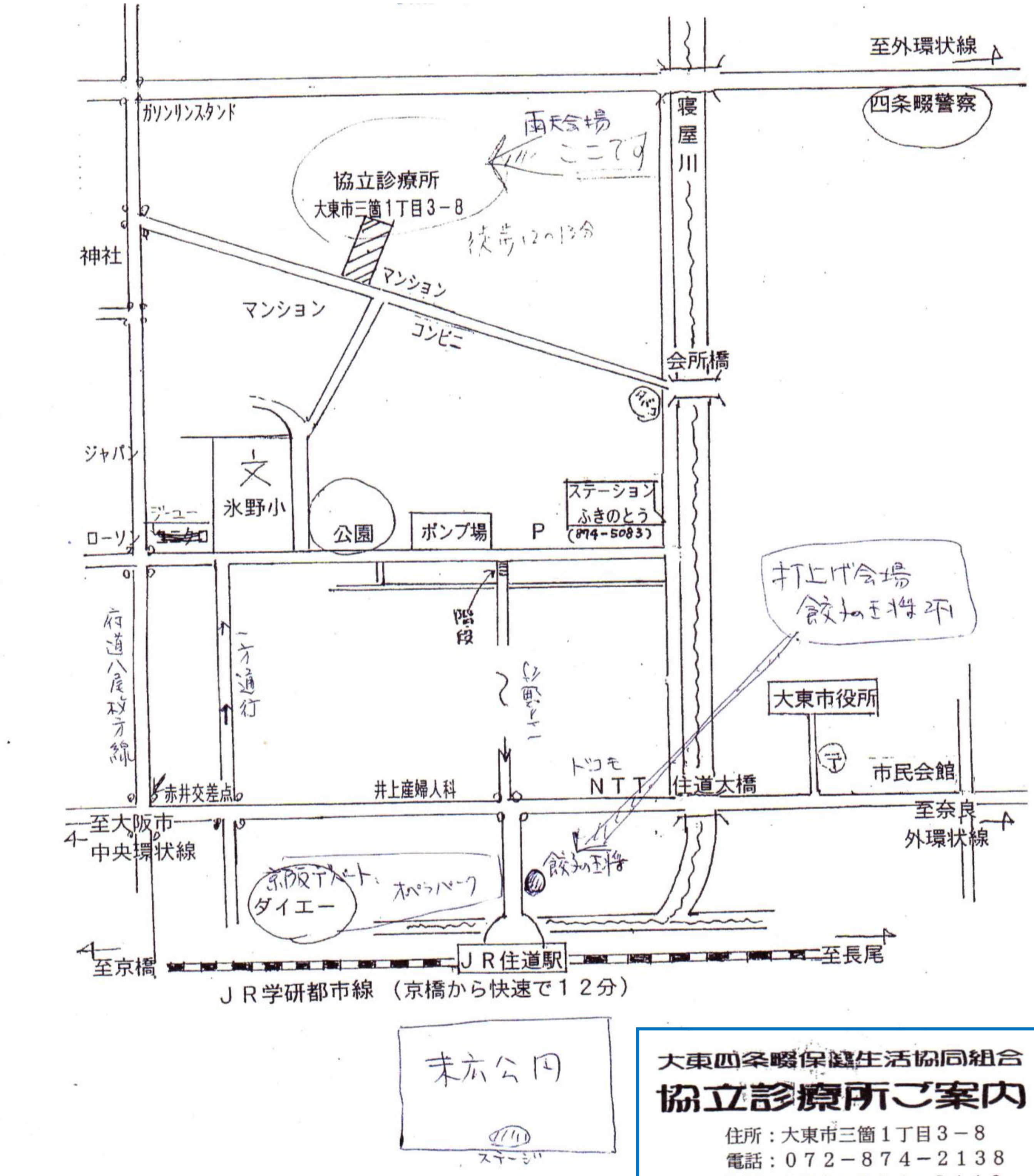
「ぞうれっしゃ」の親子合同と一緒に全員合唱「こころつなごう」

大東・四条畷医療生協　　第１１回健康まつり

□２０１２年１１月１１日（日）
□大東市末広公園（ＪＲ住の道駅前）
□服　青シャツ、９条バッジ、黒ズボン、黒靴
□曲　・私の好きなこの街　・歓びのナーダム　・淀川三十石舟うた
　　　・仲間のうた　・天の火　・おらぁここがいい

□出演１３時３０分～１４時
□（雨天の場合）：協立診療所 3F 組合員ホール

※末広公園はステージ横にテントを張りそこで着替え、荷物置き場になります。
　大雨確実のときは前日１１時頃、どちらかわかりにくいとき当日朝7時頃変更連絡があります。



大東四条畷保健生活協同組合

協立診療所ご案内

住所：大東市三箇１丁目３－８
電話：０７２－８７４－２１３８
FAX：０７２－８７４－２１１９

「行商の車の合図秋の風」･･･『氷川きよし』の歌の木霊の

「下栗の里」

大阪から高速道路を使って６時間、長野県の南東端飯田市上村（かみむら）に「下栗（しもぐり）の里」がある。標高 700～1000m にかけて棚田ならぬ棚家が連なり日本のチロル、天空の里と言われる。２年ほど前に住民の手で「天空の里ビューポイント」が作られた。そのポイントからの眺め。

西島さんの切り撮ってみる

神崎川、右に出来島水門そこから分離しているのが西島川、手前の堤防が西島の最北端

西島川に沿って南に歩けば西島橋、西島住吉神社、両島橋を過ぎ西島水門に至る。ここで西島川は淀川に合流する。ここから淀川右岸を西へ約 1.5km、河口まで歩く。ここ西島の西端は矢倉緑地と称され、釣りをする人々、水に突っ込み漁をする「ミサゴ」を撮ろうと構える人々がいる

ここから神崎川に沿って北東に 2km 余りも歩けば出来島水門に戻り、西島一周となるところだが、道がないので出来島駅まで同じ道を引き返す。この島は工場のみで、商店は無く人も住んでいないようだ。写真を撮りながらの全行程：徒歩約５時間、昼食抜き、にわか雨。公共交通機関は無く、西島川、淀川、神崎川に囲まれた文字通り陸の孤島！

「スワ地震頼りにならぬ我が飛脚」

・・・津波と競争勝ち目などなし。

淀川右岸最先端、西島の最西端